

環境データ集

NGKグループと記載のあるものは以下を対象とします。

- ・生産拠点：NGKグループ全生産拠点
- ・非生産拠点：NGK各営業拠点、NGK（中国）投資有限公司、NGKヨーロッパ（ドイツ）、NGKオートモーティブセラミックスUSA、NGKエレクトロニクスUSA、NGKベリルコU.K.

記載の環境パフォーマンスを表す数値は四捨五入しているため、個々の数値を合計しても総計と一致しない場合があります。

排出物は、産業廃棄物と有価物の合計です。

マテリアルバランス

範囲：NGKグループ

カテゴリー	物質名	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
INPUT	電力	万MWh	98	94	95	92	91
	ガス類	万MWh	166	150	142	127	119
	石油類	万MWh	2	2	2	1	2
	蒸気	万MWh	1	1	1	1	1
	原材料	万トン	16	15	14	12	11
	うちリサイクル材料	万トン	0.4	0.5	0.4	0.4	0.9
	PRTR対象物質	トン	447	511	963	1,001	1,131
	取水	万m ³	437	414	423	404	402
OUTPUT	エネルギー起源CO ₂ ※ ¹	万トン-CO ₂	63	59	59	56	42
	CN LNG考慮後※ ²	万トン-CO ₂	62	56	56	54	39
	その他温室効果ガス計	万トン-CO ₂	0	0	1	1	0
	CO ₂ （非エネルギー起源）	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	CH ₄	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	N ₂ O	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	HFC	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	PFC	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	SF ₆	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	VOC	トン	77	107	88	46	109
	PRTR対象物質（大気への排出）	トン	84	110	92	49	112
	PRTR対象物質（水域への排出）	トン	1	1	1	1	1
	排出物	万トン	5.4	4.7	4.8	4.4	4.6
	うち再資源化量	万トン	4.2	3.7	3.7	3.6	3.8
	うち外部処分量	万トン	1.2	1.0	1.1	0.8	0.8
	排水	万m ³	274	268	271	264	289
	エネルギー起源CO ₂ （Scope1）	万トン-CO ₂	31	28	27	24	22
	CN LNG考慮後※ ²	万トン-CO ₂	29	25	24	21	20
	エネルギー起源CO ₂ （Scope2）※ ¹	万トン-CO ₂	33	31	32	33	19

※¹ マーケット基準を用いて算定

※² CN LNG（カーボンニュートラルLNG）：LNGの使用により発生するCO₂を、外部で創出されたCO₂削減・吸収量（クレジット）で相殺することにより、地球全体ではCO₂排出量を実質ゼロとみなす仕組みのLNGです
一方で、省エネ法など一部の制度ではクレジットによる相殺は排出量算定に反映されないため、本表では区別して記載しています

範囲：NGK生産拠点（本社／名古屋事業所／知多事業所／小牧事業所／石川工場）

カテゴリー	物質名	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
INPUT	電力	万MWh	23	23	22	21	21
	ガス類	万MWh	19	20	19	17	17
	石油類	万MWh	0	0	0	0	0
	蒸気	万MWh	0	0	0	0	0
	原材料	万トン	2	3	3	3	2
	うちリサイクル材料	万トン	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4
	PRTR対象物質	トン	186	160	176	297	225
	取水	万m ³	141	120	131	130	124
OUTPUT	エネルギー起源CO ₂ ^{※1}	万トン-CO ₂	12	13	14	12	11
	CN LNG考慮後 ^{※2}	万トン-CO ₂	10	10	11	10	8
	その他温室効果ガス計	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	CO ₂ （非エネルギー起源）	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	CH ₄	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	N ₂ O	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	HFC	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	PFC	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	SF ₆	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	VOC	トン	1	1	4	1	2
	PRTR対象物質（大気への排出）	トン	2	2	5	4	3
	PRTR対象物質（水域への排出）	トン	1	1	1	1	1
	排出物	万トン	1.0	1.0	0.9	0.9	1.1
	うち再資源化量	万トン	1.0	1.0	0.9	0.9	1.1
	うち外部処分量	万トン	0	0	0	0	0
	排水	万m ³	103	80	86	84	105
	エネルギー起源CO ₂ （Scope1）	万トン-CO ₂	4	4	4	3	3
	CN LNG考慮後 ^{※2}	万トン-CO ₂	2	1	1	1	1
	エネルギー起源CO ₂ （Scope2） ^{※1}	万トン-CO ₂	9	9	10	9	7

※1 マーケット基準を用いて算定

※2 CN LNG（カーボンニュートラルLNG）：LNGの使用により発生するCO₂を、外部で創出されたCO₂削減・吸収量（クレジット）で相殺することにより、地球全体ではCO₂排出量を実質ゼロとみなす仕組みのLNGです
一方で、省エネ法など一部の制度ではクレジットによる相殺は排出量算定に反映されないため、本表では区別して記載しています

マテリアルバランス計算根拠

INPUT	1. エネルギー	電力電力使用量 ガス類燃料の種類ごとの使用量を熱量に換算した量 ＝Σ（各燃料使用量×各燃料の単位発熱量）÷ 3,600 MJ/MWh ＜燃料の単位発熱量＞ 天然ガス・中国 (MJ/Nm³) 38.9/42.5^{※1},天然ガス・中国以外 (MJ/Nm³) 43.5/42.5^{※1},都市ガス・NGK単独 (MJ/Nm³) 45,都市ガス・NGK単独以外 (MJ/Nm³) 44.8/ 45^{※1},その他のガス 地球温暖化対策の推進に関する法律の値 石油類燃料の種類ごとの使用量を熱量に換算した量 ＝Σ（各燃料使用量×各燃料の単位発熱量）÷ 3,600 MJ/MWh ＜燃料の単位発熱量＞ 地球温暖化対策の推進に関する法律の値 蒸気蒸気の使用量を熱量に換算した量 ＝Σ（蒸気使用量×蒸気の単位発熱量）÷3,600MJ/MWh ＜蒸気の単位発熱量＞ 蒸気の供給温度圧力条件より算出 ※1 2022年度までは / の左側の係数を使用、2023年度より / の右側の係数を使用
	2. 取水	水道水、工業用水、地下水、雨水の合計
	3. PRTR 物質	日本のPRTR法第1種指定化学物質の取り扱い量の合計
	4. 原材料	製品の製造に使用された原材料の重量の合計
OUTPUT	5. エネルギー起源CO ₂ 排出量	エネルギー起源CO₂排出量＝Σ（各エネルギー使用量×各エネルギーのCO₂換算係数） ＜エネルギーのCO₂換算係数＞ 電力日本 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく電気事業者の調整後排出係数の値 / 基礎排出係数の値^{※1}, 米国 (NMC、FMIカリフォルニア、NL) 電力会社の公表値、米国 (NMC、FMIカリフォルニア、NL以外) Green-eの値、ベルギーおよびフランス AIB の値、 オーストラリア Australian National Greenhouse Accountsの値、ポーランド AIBの値 / ポーランド排出管理国家センターの値、 中国 中華人民共和国生态环境部の値 / IEA の値^{※2},その他の国 IEAの値 燃料天然ガス・中国 (kgCO₂/Nm³) 2.16/2.17^{※2},天然ガス・中国以外 (kgCO₂/Nm³) 2.22/2.17^{※2}, 都市ガス・NGK単独 (kgCO₂/Nm³) 2.29/2.27^{※2}, 都市ガス・NGK単独以外 (kgCO₂/Nm³) 2.23/2.27^{※2},その他の燃料 地球温暖化対策の推進に関する法律の値 蒸気地球温暖化対策の推進に関する法律の値 ※1 2023年度までは / の左側の係数を使用、2024年度より / の右側の係数を使用 ※2 2022年度までは / の左側の係数を使用、2023年度より / の右側の係数を使用
	6. その他の温室効果ガス排出量	その他の温室効果ガス排出量 (tCO₂)＝活動量×排出係数×地球温暖化係数 ＜地球温暖化係数＞ 地球温暖化対策の推進に関する法律の値
	7. 排水	排水量の合計
	8. PRTR 物質	水域への排出：日本のPRTR法第1種指定化学物質の公共用水域への排出量の合計 大気への排出：日本のPRTR法第1種指定化学物質の大気への排出量の合計
	9. 排出物総発生量	排出物総発生量＝外部処分量^(※1)＋外部再資源化量 再資源化量：外部再資源化量＝有償委託^(※2)＋有価物（売却）量 ※1 外部処分量：直接埋立、単純焼却を行っているもの ※2 有償委託：有償で外部に処理を委託し、再資源化するもの
	10. Scope1 ～ 3	Scope1事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼や工業プロセスでの発生）
		Scope2他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出
		Scope3Scope1,2以外のバリューチェーン全体を通じた温室効果ガスの間接排出

温室効果ガス（GHG）排出量

範囲：NGKグループ

項目		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
Scope1+2 ^{※1} （エネルギー起源CO ₂ ） （CN LNG考慮後 ^{※2} ）		万トン-CO ₂	62	56	56	54	39
Scope1（エネルギー起源CO ₂ ） （CN LNG考慮後 ^{※2} ）		万トン-CO ₂	29	25	24	21	20
Scope2 ^{※1} （エネルギー起源CO ₂ ）		万トン-CO ₂	33	31	32	33	19
Scope1+2 ^{※1} （エネルギー起源CO ₂ ） 売上高原単位（CN LNG考慮後 ^{※2} ）		トン-CO ₂ /億円	120	100	96	87	59
Scope3 （GHG：CO ₂ 換算）	合計	万トン-CO ₂	344.9	351.9	327.0	375.3	420.5
	1 購入した製品・サービス	万トン-CO ₂	178.8	192.2	188.1	201.8	213.9
	2 資本財（設備投資）	万トン-CO ₂	13.4	13.9	15.7	16.4	18.8
	3 Scope1,2に含まれない燃料 およびエネルギー関連活動	万トン-CO ₂	8.6	8.2	8.1	7.7	7.4
	4 輸送（上流）	万トン-CO ₂	18.8	11.1	10.8	9.8	8.8
	5 廃棄物	万トン-CO ₂	1.2	1.0	1.0	0.8	0.7
	6 出張	万トン-CO ₂	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	7 雇用者の通勤	万トン-CO ₂	0.9	0.9	0.8	1.0	0.9
	8 リース資産（上流）	万トン-CO ₂	-	-	-	-	-
	9 輸送（下流）	万トン-CO ₂	-	-	-	-	-
	10 販売した製品の加工	万トン-CO ₂	-	-	-	-	-
	11 販売した製品の使用	万トン-CO ₂	122.6	123.9	101.9	137.2	169.3
	12 販売した製品の廃棄	万トン-CO ₂	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
	13 リース資産（下流）	万トン-CO ₂	-	-	-	-	-
	14 フランチャイズ	万トン-CO ₂	-	-	-	-	-
	15 投資	万トン-CO ₂	-	-	-	-	-
その他のGHG （非エネルギー起源・ガス別内訳）	合計	万トン-CO ₂	0	0	1	1	0
	CO ₂ （非エネルギー起源）	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	CH ₄	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	N ₂ O	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	HFC	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	PFC	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0
	SF ₆	万トン-CO ₂	0	0	0	0	0

※1 マーケット基準を用いて算定
※2 CN LNG（カーボンニュートラルLNG）：LNGの使用により発生するCO₂を、外部で創出されたCO₂削減・吸収量（クレジット）で相殺することにより、地球全体ではCO₂排出量を実質ゼロとみなす仕組みのLNGです
一方で、省エネ法など一部の制度ではクレジットによる相殺は排出量算定に反映されないため、本表では区別して記載しています

GHG 排出量（Scope3）の算定方法

カテゴリー	算定方法
1 購入した製品・サービス	Σ（製品・サービス購入額×排出原単位 ^{※1} ）
2 資本財（設備投資）	設備投資額×排出原単位 ^{※1}
3 Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	Σ（エネルギー使用量×排出原単位 ^{※1} ）
4 輸送（上流）	Σ（輸送品重量×距離×排出原単位 ^{※2} ）
5 廃棄物	Σ（廃棄物重量×排出原単位 ^{※1} ）
6 出張	従業員数×排出原単位 ^{※1}
7 雇用者の通勤	従業員数×年間勤務日数×排出原単位 ^{※1}
8 リース資産（上流）	-（対象外）
9 輸送（下流）	-（対象外）
10 販売した製品の加工	-（対象外）
11 販売した製品の使用	Σ（製品販売個数×年間エネルギー消費量 ^{※3} ×耐用年数 ^{※3} ×CO ₂ 排出係数 ^{※4} ）
12 販売した製品の廃棄	Σ（製品販売個数×製品重量 ^{※3} ×排出原単位 ^{※1} ）
13 リース資産（下流）	-（対象外）
14 フランチャイズ	-（対象外）
15 投資	-（対象外）

※1 サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer3.6の値
※2 IDEAデータベースVer2.3の値
※3 製品群ごとに選定した代表製品または平均的な製品仕様の情報に基づく
※4 地球温暖化対策の推進に関する法律の値

エネルギー使用量

範囲：NGKグループ

項目		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
電力		万 MWh	98	94	95	92	91
ガス類		万 MWh	166	150	142	127	119
石油類		万 MWh	2	2	2	1	2
蒸気		万 MWh	1	1	1	1	1
売上高原単位		MWh/ 億円	522	442	413	359	317

水資源の保全

範囲：NGKグループ

項目		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
取水	合計	万 m ³	433.6	414.3	422.6	403.8	402.5
	水道水・工業用水	万 m ³	372.0	349.4	361.6	339.6	341.6
	地下水	万 m ³	61.4	64.8	60.8	64.2	60.8
	雨水	万 m ³	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
	総取水量のうち水ストレス地域からの取水量※	万 m ³	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	14.1	12.5
	総取水量に占める割合	%	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	3.5	3.1
排水	合計	万 m ³	270.4	267.7	271.2	264.2	288.8
	河川	万 m ³	73.3	70.5	68.1	64.5	73.9
	湖沼	万 m ³	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	海域	万 m ³	121.8	115.2	123.8	118.8	135.0
	下水道	万 m ³	45.8	50.7	49.6	50.0	57.5
	工業団地処理	万 m ³	23.8	23.3	24.3	23.5	20.4
	その他	万 m ³	5.7	7.9	5.4	7.4	2.0
水消費量		万 m ³	163.2	146.6	151.4	139.6	113.7
リサイクル量		万 m ³	6.3	7.7	10.2	10.2	8.6
リサイクル率 (リサイクル量) / (取水の合計)		%	1.5	1.9	2.4	2.5	2.1
売上高に占める水資源の優先地域 (15 拠点) の売上高比率		%	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	33.8

※ 2025 年度に水リスク評価および評価対象拠点の見直しを行ったため、2024 年度実績は 2025 年度の評価対象拠点に基づき再集計しています

原材料

範囲：NGKグループ

項目		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
原材料		万トン	16	15	14	12	11.4
うちリサイクル材料		万トン	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4
窯業原料		万トン	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	8.7	8.6
金属		万トン	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	2.0	1.9
プラスチック		万トン	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	0.3	0.3
その他 (セメント・ゴム等)		万トン	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	0.8	0.6

化学物質管理

範囲：NGKグループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
VOC	トン	77	107	88	46	109
PRTR (大気への排出)	トン	84	110	92	49	112
PRTR (水域への排出)	トン	1	1	1	1	1

廃棄物管理

範囲：NGKグループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
排出物	万トン	5.4	4.7	4.8	4.4	4.6
内訳	再資源化量	万トン	4.2	3.7	3.7	3.8
	うちプラスチック	万トン	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	0.2
	外部処分量	万トン	1.2	1.0	1.1	0.8
	うちプラスチック	万トン	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	0.1
売上高原単位	トン/億円	10.5	8.4	8.3	7.2	6.8
対BAU削減率 (2013年度を基準とした生産量原単位の改善率)	%	26	31	31	35	40

有害物質管理

範囲：NGKグループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
PCB廃棄物	処分対象検討台数	台	39	179	104	32
	処分量	kg	11,480	28,805	470	9,152

環境貢献製品・サービス

範囲：NGKグループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
環境貢献製品・サービスの売上高比率	%	59	59	64	66	59
大気汚染防止関連製品の改良にかかる研究開発費	億円	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	6.6	12.8
水資源保全関連製品の研究開発費	億円	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	0.3	2.2

生物多様性の保全と再生

範囲：NGKグループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
NGKグループの管理する敷地面積 (借地やビルフロアは除く)	km ²	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	4.1	4.1
うち保全を行った面積 (自然共生サイトの認定を受けたNGK みんなの森みずなみの面積)	km ²	- (未算定)	- (未算定)	- (未算定)	0.1	0.1

環境会計

範囲：「CO₂環境効率」および「排出物環境効率」はNGKグループ、その他の項目はNGKおよび国内グループ会社

項目				単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
環境保全コスト／設備投資				億円	9.4	19.4	28.6	15.9	44.6
環境保全 コスト／ 費用	合計			億円	41.4	31.8	50.0	49.5	38.5
	公害防止コスト		公害防止設備の維持管理費用	億円	8.1	8.3	13.2	11.8	9.8
	地球環境保全コスト		地球環境保全に関わる費用	億円	6.2	4.3	8.5	13.6	8.9
	資源循環に関する コスト		省資源、節水、廃棄物削減その他 資源循環に関わる費用	億円	9.2	7.8	9.0	10.9	9.4
	上・下流コスト		事業エリアの外（社外）で発生する 環境負荷を抑制するための費用	億円	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
	管理活動コスト		環境負荷抑制に間接的に貢献する 取り組みの費用	億円	4.0	5.2	5.3	6.3	5.5
	研究開発コスト		環境負荷低減のための研究開発費 用	億円	1.6	1.7	4.1	4.1	0.2
	社会活動コスト		環境保全や社会との環境コミュニ ケーションに関する費用	億円	2.2	2.3	2.4	2.5	2.0
	環境損傷コスト		環境に与えた損傷に関して生じた 費用	億円	9.9	2.1	7.5	0.2	2.7
経済効果	合計			億円	6.9	7.7	7.2	9.8	11.3
	省エネルギー		省エネ活動による効果	億円	1.6	3.0	2.9	6.4	6.6
	省資源	水	節水による効果	億円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		原材料	資源の効率的利用による効果	億円	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1
		容器包装	容器包装の再利用による効果	億円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		処分減	廃棄物削減による効果	億円	1.7	1.7	1.2	1.0	0.7
		売却益	有価物売却による効果	億円	3.5	2.8	3.0	2.1	3.9
費用対効果 （経済効果）／（費用）				%	16.7	24.1	14.4	19.8	29.4
CO ₂ 環境効率 （売上高）／（CO ₂ 排出量） 2013年度を100%とする				%	187	226	233	259	387
排出物環境効率 （売上高）／（排出物発生量） 2013年度を100%とする				%	172	216	217	253	266

環境マネジメントシステム

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
NGK	取得拠点数	4	4	4	4	4
国内グループ会社	取得拠点数	19	19	19	19	19
海外グループ会社	取得拠点数	21	21	21	18	18

環境監査

範囲：NGK グループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
重大な指摘事項	件	0	0	0	0	0

環境リスクマネジメント

範囲：NGK グループ

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
重大な違反	件	0	1	1	0	0

環境関連の外部評価

範囲：NGK グループ

項目	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
CDP-Climate Change	B	A-	A-	B	A-
CDP-Water Security	B	A-	B	A	A
CDP-Supplier Engagement	A	A-	B	A	A

eco 検定合格者数

範囲：NGK

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
合格者数	人	44	29	43	49	50